

個人情報を書き込むことの危険性について

インターネットには、個人情報に関する書き込みが多く見られます。ネットパトロールの際も、本名や学校名、部活名などを書き込んだものや、顔写真を掲載したものなどをよく見かけます。しかし、こうした情報は、閲覧した人によって悪用されてしまう可能性もあるのです。

個人情報を書きこむと、こんなトラブルに

- ・ SNSにプロフィールを掲載したもの

SNS



□□ **B子**

××中→○○高2年 バレー部
○○駅の近くに住んでいます！

- ・ 友達と一緒に撮った写真をブログに掲載したもの



△△中バスケット部女子！
全員3年C組！笑

- ・ 掲示板にメールアドレスなどを掲載したもの

53：名無しのバンドマン
【バンドメンバー募集中】
○○高校の1年生です。○○地域に住んでいる高校生で、バンドに興味ある人連絡ください！
Abcxxx@xxx.ne.jp

こうした書き込みをすると……



出会い掲示板



○○高2年
□□A子

彼氏ほしいなw
○○駅の近くで私のこと見かけたら、声をかけてください！



いたずら目的で、自分になりすまされ、掲示板などに不適切な書き込みをされる。



顔写真を見た人物に好意を寄せられ、学校の前でまちぶせされたり、つきまとわれたりする。



迷惑メールやウイルスが送られてくる。

インターネットの書き込みは、誰でも見ることができるものです。書き込みを見ている人の中には、悪意を持った人物も少なからずいます。そのような人物の目に留まると、上記のようなトラブルに巻き込まれてしまう可能性があるのです。

なぜ個人情報を書き込むのか？

そもそも、なぜ子どもたちはインターネットに個人情報を書き込むのでしょうか？

その理由としては、実生活の友達とインターネット上でも交流するため、といったものが挙げられます。友達に見つけてもらうための目印として、詳細な個人情報を書き込んでいるのです。

また、インターネットを通じて新しい友達を増やすために書き込んでいる子どもたちもいます。共通の趣味を持つ人などと知り合うために、自己紹介として個人情報を書き込んでいるのです。

他には、意図せずに個人情報を書き込んでいるケースもあります。子どもたちは、日記代わりにSNSなどを使っていることが多く、日々の出来事を書き込んだり、記念に撮った写真を掲載したりすることもよくあります。そうした記載や写真の中に、学校名や顔写真などの個人情報が含まれていることがあるのです。

指導のポイント

子どもたちには、悪意を持った人物の存在を意識させなくてははいけません。自分が書き込んだ情報が誰かに悪用されてしまう可能性があるということを理解させ、インターネットに書き込む前に、自分や他者の個人情報が含まれていないか必ず確認する習慣をつけるよう指導していくことが必要です。